

「EMCなんでも相談室」

タイトル「オフィスの電源を使った伝導エミッション測定について」

Q.

EMC サイトでの試験に持ってゆく前に社内で事前に伝導エミッション測定が出来ないかと、LISN を購入しました。この LISN をオフィスのコンセントに接続し、LISN を介して EUT へ電源供給を行い、伝導エミッション測定を行おうとしたところ、ビルの設備管理会社から、私のオフィスで漏電ブレーカーが作動したとの連絡が入りました。どうもこの LISN から漏電しており、漏電ブレーカーにて検出された様です。

このままではオフィスで LISN を使用できないのですが、どうしたらよいでしょうか？

A.

LISN は内部回路の構造上、グラウンドへの漏洩電流が流れます。

オフィスのコンセントと LISN の電源プラグの間に、絶縁トランスを介することで、コンセント側への漏電を防ぐことが出来ます。

この時、スペクトラムアナライザ (EMI レシーバ) などの測定器すべてを、この絶縁トランスから電源供給される事が必要です。(絶縁トランスを介さない機器がある場合、漏洩電流が筐体を經由して外部へ漏洩してしまうため)